

イスラエルで学ぶ酪農技術

どのようにしてイスラエルでは乳牛1頭あたり年間
12,000kgの牛乳を生産するのか

最初に:

酪農産業は、イスラエル農業においてリーダー的分野です。牛一頭あたりの平均牛乳生産量は1950年代以来増え続け、年間4,000kgから2010年には年間12,000kg以上となっています。脂肪分とたんぱく質の割合も劇的に増加しています。酪農分野では国が必要とする需要に完全に対応することが出来ます。

イスラエルの進んだ酪農技術

イスラエルの酪農産業は、最新鋭の技術を利用しています。牛乳加工処理機械だけでなく、搾乳システムや給餌システム、牛クーリングシステム(暑くて乾燥した夏のヒートストレスを減らすための技術)もコンピュータ化しています。

今回の研修

研修では、イスラエルの酪農家がどのようにして効率的に牛乳を増産することを可

能にしたのか、またイスラエルがどうやってそれをうまく続けているのかを学びま

す。2種類の異なったタイプの酪農場を訪れます。

- ・乳牛40-50頭を所有する家族経営型酪農場
- ・乳牛300-400頭を所有するキブツ(*イスラエル独自の農村共同体)経営の酪農場

研修の主なトピック:

- ・イスラエル酪農産業の近年の発展と概要
- ・高い産出高を可能にする近代的な経営方法
- ・栄養管理と給餌の原則
- ・暑い気温でヒートストレスを抱える条件下での高い生産高
- ・品種改良と繁殖管理
- ・牛群経営の経済的側面
- ・牛乳品質と乳房の健康管理
- ・成牛にするまでの育て方
- ・健康管理と病気予防
- ・家畜人工授精センターと蓄牛機関への訪問
- ・酪農経営のためのソフトウェア開発会社への訪問
- ・飼料場と餌加工場の訪問

観光ツアー

エルサレムやナザレなど世界的に有名な聖地を訪問

その他ご希望の観光名所(死海など)へのご案内

詳しくは INFO@DAIRYSCHOOL.CO.IL
までお問い合わせください。

